

第7回 IOC スポーツと環境世界会議・北京・公式声明

計画から実践へ

(概要)

第7回 IOC スポーツと環境世界会議の参加者、80 NOCs、20 IFs、国連環境計画と関連機関、NGOs、研究機関、OCOGs、申請都市、オリンピック、IOC、IPC、パートナー、オリンピック運動推進団体、スポーツ・レクリエーション大会関係者そして世界スポーツ用品工業連盟は：

環境とスポーツ活動は相互依存している故、スポーツ界は適正な環境保全を実践することを**認識する**

BOCOG 作成の環境保護の継続活動報告書「Beijing 2008・革新と向上」を**承認する**

国連環境計画作成の大会開催が都市の環境改善の触媒になるとする環境査定「Beijing 2008・環境講評」についても**承認する**

IOC の支援により NOC や IF に環境保全を奨励する地域セミナーがスポーツ大会の環境保全に役立つ実例を**認識する**

トリノ大会の環境保全活動が新しい環境基準を創ったことを**賞賛する**

全ての分野で卓越した活動に対して隔年で IOC のスポーツと環境賞が制定されることを**歓迎する**

高い効果が永続的に持続する解り易く少ない経費で使いやすい施策が必要であることを**記録する**

大会の環境保全の効果を上げるためにオリンピック運動の関係者によってパートナーシップを編成することを**支持する**

政府、地域社会、市民が地球温暖化に迅速な対策が求められていることを**理解する**

招致・開催都市が温室効果ガスの削減や相殺活動を取り入れる傾向にあることを**承知する**

北京大会が排出削減、エネルギー使用への施策、通勤の合理化や都市の植林緑化で環境に配慮していることに**感謝を持って記録する**

BOCOG の世界会議への多大な貢献に**感謝する**

招致申請・立候補都市が炭酸ガス相殺（offset）の実践政策を実行することを**激励する**

競技連盟が求められている環境に配慮することを規約に盛り込むことを**奨励する**

スポーツ団体は環境保全の事例研究、IOC ガイドやマニュアル、専門知識によって対策を講ずることを**要請する**

スポーツ界が社会で持続可能性の継続的効果を上げるための触媒を提供することを**要請する**

スポーツ関係者にスポーツ活動の中で正しい概念を持ち環境保全を確実に実行する事を**再度要請する**